

ルール改正及び、セルフジャッジについて

2018年度ルールブックの中で、セルフジャッジの試合に関するルール変更点をお知らせします。普段の試合に関する重要変更点です、是非確認をお願いいたします。

又、ルールブックの修正箇所があります。下記をご覧くださいそれぞれお持ちのルールブックの訂正をお願いいたします。

☆JTAテニスルールブックの今年度変更点について（抜粋）

- ◎ 各判定とコールする権利者（セルフジャッジの試合）
・「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チーム
- ◎ 誤ったコールを直ちに訂正した場合（セルフジャッジの試合）
・インだったボールを誤って「アウト」とコール、直ちに訂正した場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが、明らかなウイニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。そして、2回目以降は故意に妨害したとして失点する。
- ◎ 2018年度の変更点の中で、ロングスパッツについてですが、日本女子テニス連盟では着用可といたします。

※その他変更点はルールブックをご確認ください。

☆ルールブック訂正

- ・ 60ページ 4) 「アウト」または……
- ・ 61ページ 7) サービスのレットは……

上記2か所を全文削除